

●しゃらくかい

写楽同会

令和元年12月31日 48

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2019 Sharakukai

師走兼題「クリスマス」 出題：梵木

写真俳句



1 齢重ね今は二人のクリスマス

子供達が居る頃はもっと盛んに飾っていたが・・・



2 訓鹿（トナカイ）の頭とならんクリスマス

微笑ましい風景でした。中七は「あたま」でも「かしら」でもお好きなように読んでください。写真がないと分からない句ですが、そこは写真画像と共に楽しむということで乞ご容赦。



3 街路樹にひかり咲きたるクリスマス

樹木に電飾が当たり前になってますが自分はどうも？・・・。

ハリポタの世界思わず聖夜かな



4 ハリポタの世界思わず聖夜かな

昨年のクリスマスイブです。エジンバラの私立校です。



幼なき頃
わけもわからず
くりすます

5 幼なき頃わけもわからずくりすます



クリスマス 赤い銀座の裏通り

6 クリスマス 赤い銀座の裏通り

裏通りでも銀座はおしゃれです。



夕暮れて聖樹かがやき街に映え

7 夕暮れて聖樹かがやき街に映え

ビル街のツリーは近年よく見かけるようになりましたね。



降り積もる
燦たる光
イヴトーキョー

8 降り積もる燦たる光イヴトーキョー

俳句

1 早起きしサンタ来たよと大はしゃぎ

子供が幼少の頃の思い出です。あの頃は可愛かった！

2 クリスマス空とぶサンタCO2ゼロ

3 恙（つつが）なし迎えし聖夜星はなし

悪天候が続く。「し」を繰り返してみました。

4 愛おしく靴下吊るし聖夜待つ

幼子の夢の世界。自らの昔を懐かしむ。

5 巫女さんも禰宜も街出るクリスマス

日本では宗教に関係のない年間行事ですね。

6 宇宙船を見上げサンタとさけぶ子ら

数年前クリスマスに宇宙船が通ったのでみんな外に出ていました。

7 達郎の歌蘇る聖夜かな

山下達郎「クリスマスイブ」はクリスマスには欠かせませんでしたね。



撮影：梵木

いつまでもなんでもかでも「なぜなぜ」と聖夜の宇宙 (そら) か孫の眼 (まなこ) は
北切雀

魔の二歳児の「なぜなぜ攻撃」にうんざり。

川柳

準坊 夫婦喧嘩灯り消えたらノーサイド

また出たぞ任命責任ゴメンだけ

ご案内「桜を散らす会」安倍事務所

北切雀 今月もスタバでひねる写楽句会

毎月苦し紛れの句ばかりで、今年も一向に上達しない年でした。

「アーンして」むかしラブラブいま介護 (2013年ポプラ社発行 シルバー川柳 2) 抜粋

定年にエプロン貰い嫌な予感 田辺正勝

美しく老いよと無理なことを言う 菅勇

老後にと残した夢も夢のまま 永松義敏

補聴器を付けてますます地獄耳 白井道義

写真投稿

iSAMU 3点



甲斐ヒルズCCからの富士・・・山梨韮崎にあるゴルフ場からの富士



志木ニュータウンの紅葉1・・・志木ニュータウン中央公園の紅葉



志木ニュータウンの紅葉２・・・

令和元年11月「空の旅」（出題者：読者JAさん）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

写真俳句 投票数：24

一席



雲の上旅の始まり秋の暮れ 千泉（6票）

<< 甥が撮った写真ですが、空の上の雲はいろいろあって、時々感動します。>>

- * この写真、なんだか神がかってません？「秋の暮れ」の淋しいイメージを「始まり」と捉える前向き志向を見習いたい。
- * 旅の始まりが雲の上羨ましい限りです。
- * 壮大な雲間を滑るように飛行する… 限りなく続く恍惚感。
- * 雲の写真が素晴らしい。

佳作（11月号掲載順）



老二人病も癒えて秋空へ 昼寝覚

<< この2、3年二人が次々と大きな手術を受けましたがそれも癒え、今年ようやく海外旅行することができました、写真はヘルシンキ上空です。>>

- * 二人三脚の人生のまた一区切りですね。新しい始まりを感じる句。
- * 空の旅ができるようになって良かったですね。
- * 病から解放される喜びにひたる。素晴らしい旅ですね。
- * 体も心も癒す、素敵な旅になったことでしょうね。



ひたい付け機窓に魅入る積乱雲 準坊

<< 積乱雲の迫力に思わず見入ってしまいました。
命が有るが如し。>>

- * 迫力の雲で機体の揺れを心配してしまいました。
- * 窓際の席では私もひたいを付けます。積乱雲が季語ですか？
- * 雲を見ていると本当に見入ってしまいます。
- * 確かに見入ってしまいます。



秋空をふわり南へアサギマダラ 久芽

<< 何百キロも移動し海をも渡る蝶アサギマダラ。春は北上、秋には南下。※アサギマダラの写真が無いためパソコンより探しました。>>

- * アサギマダラは、大空でしなやかに、そして強く生きている蝶なのですね。
- * 本当に自然の不思議さには言葉もありません。
- * 渡りをする蝶とは珍しい。

秋の原空へと誘う鳥の凧 梵木

- * 地上から空へ、重力に逆らいたい気持ち。
- * 秋の季節感を入れた画面に工夫があります。



秋天に絶叫残す空の旅 池福楼

- * 面白い句ですが写真が無くても分かる句になれば良いのですが。
- * 意表を突かれる「空の旅」ね、遠慮します。



音もなくさやけし空の雲の旅 北切雀

- * 写真と句が合っていて雄大な雲の流れも良く出ています。
- * 本当に雲って旅しているように見えるから不思議。ダイナミックな夏の雲と違って高く青くて済んだ空を渡っていく、やさしくて静かな、穏やかな写真と句がいいです。
- * 秋の心地よい気分と旅に出る期待と高揚感が伝わる。
- * 秋の心地よい気分の旅情を感じる。
- * 凄く珍しい雲ですね。



秋高し更にその上空の旅 iSAMU

- * 「更にその上」の中七がとても良いですね。
- * 秋と言えば、「天高く…」と誰もが思い浮かぶくらい空は高いのに、ずっとその上に行く人間とはスゴイ！こうして写真にまで収めて来られる旅はきっと楽しく、感動に満ちていたに違いないですね。
- * 神秘的な風景です。
- * 秋高し更にその上 と一気に上空に引っ張りあげられます。

俳句 投票数：22



機内空路地図：読者JAさん

一席

冬銀河はやぶさ何処宙の旅 池福楼（8票）

<< ミッションを成功させ2020年末に地球に帰還するはやぶさ2。 >>

- * テクノロジーとロマン！
- * はやぶさの無事の帰還が待ちどろしいですね。
- * 「宙の旅」の中で、はやぶさの小ささが思われます。
- * 無事に戻って来ることを祈ってます
- * はやぶさは偉大な旅をしていますよね。
- * 人間の頭脳で造られたココロを持たない金属のはずなのに 健気さを感じてしまう。

佳作（11月号掲載順）

次々と雁着水し 旅終わる 昼寝覚

<< シベリアからの飛来でしょうか、渡り鳥が川や湖に来て羽を休めています。 >>

- * 長旅お疲れ様。離水のドタバタとは逆のエレガントな着水が目浮かぶ。
- * 人から見たら季節の風景ですけど、自然とは厳しい、鳥にとっては命がけですね。ゆっくり羽を休められるといいなあ、そんな無事に到着した雁たちへの愛情が感じられます。
- * 様子が目に浮かびます。
- * 季節の風物詩ですね。

林檎食む寝入る機内に眠れぬ吾 一枝

- * 暗く寝静まった機内。林檎に歯を立てた音が聴こえる。果肉の冷たさ、甘酸っぱい味と香り。闇の中、それも「機内」と日常から切り離された暗さの中で研ぎ澄まされる五感。
- * 眠れずに林檎を食む吾 ちょっとクスリですね。
- * ドリーミーな夜間飛行。眠れない時間も愉しむ。

夜間飛行毛布抱えて空席へ 久芽

<< 空席があったら横になって寝なくては（エコノミーの辛いとこ）。>>

- * 庶民旅、いざ快適なものにすべく、困難を乗り越える努力はマストですね、すっごく共感できる！！ご苦労しているのに申し訳ないですが、なんか語呂も軽快で楽しく、つい笑っちゃいました。きっとご本人もそんな自分の姿に心で笑っていたのかもですね。こんな旅ができるのもきっと元気な証拠、頼もしい限りじゃないですか。
- * こちらの夜間飛行はちょっとコミカルですね。

向かい風空たび休らう渡り鳥 千泉

<< 向かい風がきつく動けなくなり電線に並んでいました。>>

- * 辛口コメ御免。写真がないのでこの字づらだけだと、鳥が飛びながら休んでいるようでちょっとわかりづらい？上五を「電線に」とした方が良かったのでは？
- * 渡り鳥も羽を休ませなくては。
- * 風に向かって、一列に並んでいる姿が目につかびます。
- * 命のリスクを伴う「渡り」。自然の厳しさ。

空冴えて15分の旅観覧車 準坊

<< 夜空へテークオフ冴え渡る夜景に感激。>>

- * 小さなゴンドラに二人きりの空中散歩。
- * 綺麗な夜景が見えるようです。

ドローンが空の旅へと誘いくる 梵木

- * 「ドローン」が新しく季語になったのかと一瞬驚きました。季語になっていなくても新鮮な視線。
- * ドローンで驚異の画像が沢山見られるようになりました。

見送りのローカル空港霜の朝 北切雀

<< 季語が動く駄句ですが、ちょっと思い出があるのであえて。>>

- * 寒々とした寂寥感を感じる句ですね。
- * 友人の見送りでしょうか？地方の閑散とした空港の静けさをドラマ風に。
- * 「季語が動く」の表現、初めて知りました。季語が動く謙遜されていますが、この季語で空港の寂しさがよく出ていると思います。

写真いいね！



雲の上旅の始まり秋の暮れ 千泉

- * いろいろな雲の形が面白くて、変化をずっと眺めていたくなる景色ですね（FNさん）。

- * 作者さん、読者さん、今年もご協力ありがとうございました。写楽句会、5年目となる新年もなにとぞよろしくお願いいたします。
- * 令和2年睦月1月は久芽さんから「冬の遊び」、如月2月は千泉さんから「暖房」と出ています。
- * 師走12月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳也大歓迎です。
- * 師走12月への投票、睦月1月号作品への投稿の締め切りはともに1月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。
- * 皆さま良いお年をお迎えください。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、一枝、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

筆責：北切雀 校正：準坊、池福楼

写楽句会 連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com

© 2019 Sharakukai

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html> または
四季の森空間 <http://isamusouma.web.fc2.com/>